

## ドロップダンサー2：使用方法

- 1：通常の洗車を行います（綺麗に埃を落としてください。泡の大きなシャンプー洗車がお勧め）
  - 2：水を拭き取る前に、ドロップダンサー2を噴霧して、水と一緒に拭き取る感じです。  
（狭い場所や車体以外のもに使う場合は湿らせたタオルなどに噴霧して塗り込んでやります）
  - 3プラスチックにも使用できるのでヘルメット、ランプ、ウインカー等にも使えます
  - 4：ディスクやタイヤトレッド面など滑ってはいけない箇所への使用は厳禁
  - 5：布やざらついた面にはシミなどが出る場合があるのでやめておいた方が無難です。
  - 6：塗布面は2時間以上水気が来ないようにしてください。定着するまで不安定で水と結びついてしまいます。
- ※少量をティッシュなどに噴霧して、スマホの画面他タッチパネルに塗ると、汚れにくくレスポンスも良くなります。ただし、かなりスベスベになるので滑らないよう気をつけてください。

※静電気除去抑止効果は概ね一か月です

## 静電気抑制除去を行うと空力特性がなぜ良くなるのか

空気を問わず流体は、静電気を帯びたものの表面を流れる際に、静電気に引き寄せられてしまいます。本来ならば、剥離して流れていかなければならないのに境界にまとわりつきます。そうすると渦が発生し始めます。渦は反転流となるために空気の抗流を生み出します。そして小さな渦は波打ちながら他の渦と合体し成長しながら剥離します。この時の乱れた渦が俗にいう空気抵抗の乱流であり、車体が風により不安定な動きになる元なのです。

航空機の翼の前縁部に取り付けられる Turbulater（俗称ボルテックスジェネレーター）は主要表面に抗流渦ができるのを防ぐために予め小さな整然とした渦を発生させてその上を層流ができるように設置されているのです。

アルミテープチューニングも同様に蓄積した静電気を空気中に放電させてやるアースの一種です。

ドロップダンサー2の静電気抑制除去効果は綺麗にするのは当然ながら静電気抑制除去をすることにより空力パーツの性能をより働かせてやったり、空力パーツがなくてもその状態での最良の空気の流れを生み出す事ができるのです。

Air Repair 株式会社

